

2. 附属図書館

平成 20 年度に総合情報処理センターと統合し、新たな組織である学術情報拠点となった。学術情報拠点は、学術情報を取り巻く環境の大きな変化に対応するために発足し、従来からの学術情報に加えて、学術情報の電子化に対応した学術情報の効率的な収集・整理・活用・発信を展開しようとしている。

施設については、従前の且野原キャンパスの附属図書館は学術情報拠点（図書館）（以下「且野原図書館」という。）と称し、挾間キャンパスの図書館は学術情報拠点（医学図書館）（以下「医学図書館」という。）と称している。

また、従前の総合情報処理センターについては、且野原キャンパスに配置する施設を学術情報拠点（情報基盤センター）（以下「情報基盤センター」という。）と称し、挾間キャンパスの分室を学術情報拠点（医学情報センター）（以下「医学情報センター」という。）と称している。

2.1 組織

（現状）

学術情報拠点の発足に当たり、組織の全体の長であり且野原図書館施設の管理運営を統括する拠点長を置いたほか、他の三施設に各施設の管理運営を統括する副拠点長を置いた。

しかし、「附属図書館と総合情報センターの統合計画」や大分大学学術情報拠点規程で学術情報拠点に置くこととなっている協力教員や、協力教員を構成員とする学術情報室と情報基盤室が、平成 20 年度末現在未整備である。これらの組織は、学術情報拠点の設置目的を達成する上で不可欠であるため設置が急務となっている。

なお、学術情報拠点の職員等の配置は、平成 21 年 3 月 31 日現在、資料 2.1-1 のとおりとなっている。

（参照資料）

資料 2.1-1 学術情報拠点スタッフ数

（評価）

学術情報拠点の設置目的を達成するため、早期に組織を整備する必要がある。

資料 2.1-1 学術情報拠点スタッフ数

（人）

施設	区分	教員	技術職員	事務職員	事務補佐員	派遣職員	外部委託	合計
且野原図書館		0	0	8	4	0	4	16
医学図書館		0	0	3	0	0	3	6
情報基盤センター		2	2	0	1	0	0	5
医学情報センター		1	0	0	1	2	0	4
計		3	2	11	6	2	7	31

※ 併任の教員及び時間外職員は除く

2.2 図書資料

2.2.1 蔵書冊数

(現状)

現在、附属図書館管理の図書は約 76 万冊である。このうち開架図書は約 30 万冊、書庫内図書は約 36 万冊、研究室貸出図書は約 10 万冊である。利用者は開架・書庫内図書を自由に閲覧できる。

平成 20 年度に、蔵書冊数は約 1 万冊増加している。毎年蔵書冊数が増大し少しずつ狭隘化が進んでいる。このため、その対策として、書庫内図書の重複資料について、廃棄又は別置を 4 か年計画で行うこととした。

(参照資料)

資料 2.2.1-1 附属図書館における蔵書冊数

(評価)

文部科学省の学術情報基盤実態調査を基に本学と同規模大学の図書館の蔵書冊数を比較すると、蔵書冊数は全国レベルを大幅に上回っている。また、利用者は開架・書庫内図書も自由に閲覧でき、蔵書数の多さは利用者へのサービスの利点となっている。

資料 2.2.1-1 附属図書館における蔵書冊数 (冊)

区 分 年 度	蔵書数		合計
	且野原図書館	医学図書館	
平成 20 年度	633,826	126,901	760,727
平成 19 年度	625,621	123,545	749,166
平成 18 年度	618,557	120,194	738,751
平成 17 年度	611,963	116,874	728,837
平成 16 年度	604,825	113,492	718,317
全国平均	—	—	613,419

※「全国平均」は、「平成 19 年度学術情報基盤実態調査」による平成 18 年度同規模国立大学（2～4 学部）の実績である。

2.2.2 年間受入図書冊数

(現状)

学術情報基盤実態調査と比較すると、本学の年間受入図書冊数（12,921 冊）は全国平均（9,938 冊）を上回っている。

各図書館別にみると且野原図書館はここ数年減少傾向にあったものの、平成 20 年度は大幅に増加し、4 年前の受入冊数をやや下回る程度になっている。医学図書館は変動が少ない。

(参照資料)

資料 2.2.2-1 年間受入図書冊数

(評価)

年間受入図書数及びその購入分ともに、全国レベルを大幅に上回っていることは評価できる。

Ⅶ. 学内共同教育研究施設等

(冊)

資料 2.2.2-1 年間受入図書冊数

区 分 年 度	年間受入図書		左記のうち購入分		左記のうち外部資金分	
	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館
平成 20 年度	9,565	3,356	7,665	2,343	2,116	363
	12,921		10,008		2,479	
平成 19 年度	7,202	3,351	4,826	2,161	453	440
	10,553		6,987		893	
平成 18 年度	7,654	3,320	5,323	2,057	623	513
	10,974		7,380		1,136	
平成 17 年度	8,283	3,382	7,081	1,324	456	204
	11,665		8,405		660	
平成 16 年度	9,607	3,886	8,588	2,041	355	196
	13,493		10,629		551	
全国平均	9,938		6,262			

※「全国平均」は、「平成 19 年度学術情報基盤実態調査」による平成 18 年度同規模国立大学（2～4 学部）の実績である。

2.2.3 分野別図書収集状況

(現状)

且野原図書館では、社会科学が半分以上を占め、分館では利用分野を反映して自然科学分野（中でも医学分野の専門書）が大半を占めている（資料 2.2.3-1）。分野に偏りはあるものの、分野横断的な新書シリーズを継続購読することなどにより、特定分野に集中しないよう配慮している。

(参照資料)

資料 2.2.3-1 平成 20 年度分野別図書収集状況

(評価)

基本的に、本学の学部構成に見あった分野別図書収集状況となっているが、過度に、それが進行しないような措置が実施されていることは評価できる。

資料 2.2.3-1 平成 20 年度分野別図書収集状況

(冊)

区 分	且野原図書館	医学図書館	計	区 分	且野原図書館	医学図書館	計
総 記	573	29	602	技 術	583	30	613
哲 学	374	73	447	産 業	390	15	405
歴 史	820	66	886	芸 術	284	42	326
社会科学	4,711	266	4,977	言 語	588	32	620
自然科学	764	2,734	3,498	文 学	478	69	547
				合 計	9,565	3,356	12,921

2.2.4 年間受入雑誌数

(現状)

受入雑誌数のうち購入分については、且野原図書館・医学図書館とも、研究費の減額により、教員の申し出によるタイトルの中止が進んでいる。平成 19 年度においては、医学図書館備付雑誌の見直しも行ったため、購入分が更に減少した。

なお、学術情報基盤実態調査と比較すると、受入雑誌数全体は平均値を下回っているが、且野原図書館、医学図書館ともに寄贈雑誌の受入を積極的に行っているため大幅減をやや抑制している。購入分は、概ね平均値である。

(参照資料)

資料 2.2.4-1 平成 20 年度年間受入雑誌数

(評価)

購入雑誌タイトル数については、全国レベルに達していることは評価できる。

資料 2.2.4-1 平成 20 年度年間受入雑誌数

(タイトル数)

区 分 年 度	且野原図書館		医学図書館		合 計	
	受入雑誌	うち購入分	受入雑誌	うち購入分	受入雑誌	うち購入分
平成 20 年度	1,366	814	839	451	2,205	1,265
平成 19 年度	1,816	838	985	504	2,801	1,342
平成 18 年度	1,852	961	920	606	2,772	1,567
平成 17 年度	1,056	1,001	940	609	1,996	1,610
平成 16 年度	1,151	1,097	982	649	2,133	1,746
全国平均					3,160	1,167

※「全国平均」は、「平成 19 年度学術情報基盤実態調査」による平成 18 年度同規模国立大学（2～4 学部）の実績である。

2.2.5 年間図書資料購入費

(現状)

且野原図書館・医学図書館ともに、図書購入費は学生用図書充実のため、他大学の状況を元に予算要求を行い、予算増額が認められたことにより増加している。学部の図書購入費は、且野原図書館では増加しているが、医学図書館では減少している。平成 19 年度から外国雑誌を電子ジャーナルに変更したことにより、雑誌費が大幅に減少し、電子ジャーナル費が大幅に増加している。また、電子ジャーナルについては値上り分も増加に影響している。

(参照資料)

資料 2.2.5-1 年間図書資料購入費

(評価)

他大学の状況を調査するとともに、予算要求を行ったことによって予算の増額が認められ、学生用図書の充実が図れたことは評価できる。

図書資料購入費を安定的かつ継続的に確保するために引き続き予算要求を行う必要がある。

資料 2.2.5-1 年間図書資料購入費

(単位：千円)

区 分		且野原図書館			医学図書館		
		H18	H19	H20	H18	H19	H20
図書購入費	附属図書館	9,071	7,886	9,649	7,723	7,673	10,458
	学部	16,920	18,354	23,990	7,814	8,883	7,952
新聞・雑誌費	附属図書館	1,929	1,943	1,909	31,403	11,906	9,440
	学部	31,922	21,523	21,829	21,721	17,789	16,961
電子ジャーナル費	附属図書館	13,931	15,102	1,170	4,942	24,475	39,970
	学部	4,867	16,074	16,169	1,583	5,916	5,985
合計	附属図書館	24,931	24,931	12,728	44,068	44,054	59,868
	学部	53,709	55,951	61,988	31,118	32,588	30,898

2.3 利用者サービス

2.3.1 開館日・開館時間

(現状)

且野原図書館・医学図書館とも、原則として、夏季一斉休業期間と年末年始を除き年間を通して開館している。夏季一斉休業期間の休館は平成 20 年度から実施を開始した（資料 2.3.1-1,2 参照）。

なお、且野原図書館では平成 12 年度から開館時間を延長し、平日は 22 時まで、休業期、土曜、日曜及び祝日も 19 時まで利用できるようにしている。また、医学図書館では 24 時間開館を実施している。

なお、且野原図書館では、学習環境向上に寄与するため、試験期間中の土曜、日曜及び祝日の開館時間を延長することを検討している。

(参照資料)

資料 2.3.1-1 開館時間

資料 2.3.1-2 開館日数・開館時間数

(評価)

且野原図書館・医学図書館ともに開館日、開館時間は高く評価できる。

資料 2.3.1-1 開館時間

期 間	且野原図書館	医学図書館
月～金	9:00～22:00	9:00～20:00
月～金（休業期間）	9:00～19:00	9:00～20:00
土・日・祝日	10:00～19:00	10:00～17:00
夏季一斉休業期間, 年末年始(12/28～1/4)	休館	休館

※医学図書館については、学生等大学関係者は 24 時間利用可能

資料 2.3.1-2 開館日数・開館時間数

区 分		H16	H17	H18	H19	H20
年間開館総日数	旦野原図書館	355	356	357	354	351
	医学図書館	357	357	357	357	354
土曜開館日数	旦野原図書館	51	50	49	46	48
	医学図書館	51	50	49	51	50
休日開館日数	旦野原図書館	65	65	65	65	63
	医学図書館	65	65	65	65	64
土曜開館総時間数	旦野原図書館	459	450	441	414	432
	医学図書館	357	350	343	357	350
休日開館総時間数	旦野原図書館	585	585	585	585	567
	医学図書館	455	455	455	455	448
休日時間外開館時間数を除く 時間外開館総時間数	旦野原図書館	1,509	1,500	1,500	1,486	1,485
	医学図書館	1,080	1,076	1,072	1,080	1,070
1日当たりの時間外開館時間数 (平日)	旦野原図書館	5	5	5	5	5
	医学図書館	3	3	3	3	3
1日当たりの時間外開館時間数 (土・日, 祝)	旦野原図書館	9	9	9	9	9
	医学図書館	7	7	7	7	7

2.3.2 閲覧サービス体制

(現状)

旦野原図書館 4 名, 医学図書館 3 名で閲覧サービスと相互貸借業務を担当し, 常時 2 名を閲覧カウンターに配置する体制をとっている。また, 夜間開館時にも, 常時 2 名のスタッフを配置するなど閲覧サービスの充実に努めている。

なお, 高度化する図書館サービスへの対応等により, 閲覧サービスについては, 医学図書館は平成 19 年度から, 旦野原図書館は平成 20 年度から実施している。

(参照資料)

資料 2.3.2-1 閲覧サービス担当スタッフ数

(評価)

現状の体制の中では, 十分評価できる。

Ⅶ. 学内共同教育研究施設等

(人)

資料 2.3.2-1 閲覧サービス担当スタッフ数

区分 年度	事務職員		事務補佐員		派遣職員		外部委託		合計		時間外職員(※)	
	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館
20	0	0	0	0	0	0	4	3	4	3	2(1)	2(1)
19	1	0	2	0	1	0	0	3	4	3	2	2(1)
18	1	2	2	1	1	1	-	-	4	4	2	2
17	1	1	2	1	1	1	-	-	4	3	2	2
16	2	2	2	1	0	0	-	-	4	3	2	2

※ 時間外職員は体制人数

※ () は外部委託で内数

2.3.3 利用対象者数

(現状)

且野原図書館では、学内者の利用者についてはほとんど変動がないが、一般利用登録者については、漸減の傾向にある(資料 2.3.3-1)。

医学図書館では、平成 16 年度以降の一般利用者へのサービス拡大や、学内広報誌における広報の効果を反映して、一般利用の登録者は少しずつ増えている。なお、且野原図書館に比べ一般利用者の登録者数が少ないのは、地理的要因や、駐車料金の負担が一因と考えられる。

(参照資料)

資料 2.3.3-1 利用登録者数

(評価)

且野原図書館の一般利用者の登録者数が漸減傾向にあることに注意し、今後の推移を見守る必要がある。

資料 2.3.3-1 利用登録者数

(人)

区分 年度	学生数		院生数		教職員数		一般利用者数		合計	
	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館
20	4,300	850	532	189	950	1,451	744	119	6,526	2,609
19	4,333	872	542	183	835	1,435	845	91	6,555	2,581
18	4,441	833	545	160	694	1,164	991	87	6,671	2,244
17	4,422	838	502	191	648	1,152	1,200	40	6,772	2,221
16	4,419	846	521	375	650	1,152	1,460	24	7,050	2,397

2.3.4 入館者数

(現状)

且野原図書館の入館者数は、年により増減があるが、緩やかな減少傾向にある。また、一般利用者の入館者数は、毎年 11,000~14,000 人となっているが、これは、全国立大学の平均を大きく上回る数値である。

医学図書館では、年により増減があるが、概ね入館者数は安定しており、一般利用者については、

且野原図書館に比較すると少数であるが、着実に増加している。

(参照資料)

資料 2.3.4-1 入館者数

(評価)

一般利用者が多いことは大いに評価できる。

資料 2.3.4-1 入館者数 (人)

年度	入館者数		一般利用者数	
	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館
平成 20 年度	343,366	108,945	11,947	1,298
	452,311		13,245	
平成 19 年度	356,190	89,459	11,129	1,284
	445,649		12,413	
平成 18 年度	347,361	103,067	14,262	1,118
	450,428		15,380	
平成 17 年度	360,062	98,700	11,668	1,235
	458,762		12,903	
平成 16 年度	371,793	95,438	12,416	869
	467,231		13,285	
全国平均	—		4,352	

※一般利用者数は入館者数の内数

※「全国平均」は、「平成 19 年度学術情報基盤実態調査」による平成 18 年度同規模国立大学（2～4 学部）の実績である。

2.3.5 資料の貸出

(現状)

資料の貸出条件は、且野原図書館・医学図書館ともに、利用者及び資料の区分によって設定している。且野原図書館では、一般貸出のほかに、特別貸出や卒業論文用貸出などの貸出種別を設けて、学生への利便性の向上を図っている。また、近年、且野原図書館において、長期に渡る延滞者が増加しているため、平成 19 年度から、医学図書館と同様に延滞日数に応じたペナルティを課したところである。

(参照資料)

資料 2.3.5-1 且野原図書館貸出条件表(利用規程第 8 条, 第 10 条関係)

資料 2.3.5-2 医学図書館貸出条件表(利用規程第 8 条, 第 10 条関係)

(評価)

従来からの経緯をみても、資料の貸出における冊数及び期間とも問題ない。また、且野原図書館のペナルティを見直したことは妥当であり評価できる。

資料 2.3.5-1 且野原図書館貸出条件表(利用規程第 8 条, 第 10 条関係)

区 分	貸出冊数及び貸出期間			
	法人教員	本学大学院学生 本学名誉教授 非常勤講師・医師 研究員等	法人役員及び職員(教員 及び非常勤講師並びに 医師を除く。) 本学学部学生等 一般利用者	本学学生であっ て卒業論文等を 提出する者
開架図書 (雑誌を含む)	5冊以内 2週間	5冊以内 2週間	5冊以内 2週間	5冊以内 1か月間
書庫内図書	200冊以内	20冊以内 1か月間		

備考：上記の期間にかかわらず，雑誌の貸出期間は原則として1週間とする。

資料 2.3.5-2 医学図書館貸出条件表(利用規程第 8 条, 第 10 条関係)

区 分	貸出冊数			貸出期間
	法人役員及び職員並 びに本学大学院学生 研究員等	本学学部学 生等	本学名誉教授 一般利用者	
図 書	10冊以内	6冊以内	6冊以内	2週間
製本雑誌 未製本一般雑誌	5冊以内			1週間
未製本学術雑誌	5冊以内			2日間
合 計 貸出冊数	10冊以内	6冊以内	6冊以内	

2.3.6 貸出人数・貸出冊数

(現状)

且野原図書館については，貸出人数・貸出冊数ともに，全体的に減少傾向にある。特に，平成 19 年度に貸出冊数が大幅に減少したのは，延滞日数に応じたペナルティを新たに課したことが影響していると考えられる。

医学図書館では，学生及び教職員については，貸出人数・貸出冊数ともに減少傾向にあったが平成 20 年度は増加に転じている。また，一般利用者については，着実に増加している。これは，平成 17 年度から，一般利用者コーナーに加え，雑誌を除く一般図書も学内者と同様に貸出可能になったことが一因と考えられる。

なお，学術情報基盤実態調査と比較すると，貸出冊数は平均値を上回っており，特に一般利用者の貸出冊数については，平均値を大幅に上回っている（資料 2.3.6-2 参照）。

(参照資料)

資料 2.3.6-1 貸出人数

資料 2.3.6-2 貸出冊数

(評価)

貸出冊数が全国平均を上回っていることは評価できる。特に一般利用者は全国平均の約 5 倍もの貸

Ⅶ. 学内共同教育研究施設等

出冊数があり、地域に貢献している。且野原図書館の学生については、貸出人数、貸出冊数ともに減少傾向にあることに注意し、今後の推移を見守る必要がある。

資料 2.3.6-1 貸出人数 (人)

区分 年度	学生		教職員		一般利用者		合計	
	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館
20	17,152	5,917	2,592	1,136	2,343	284	22,087	7,337
	23,069		3,728		2,627		29,424	
19	17,408	5,419	1,829	959	2,539	205	21,776	6,583
	22,827		2,788		2,744		28,359	
18	20,261	5,841	2,043	843	3,011	198	25,315	6,882
	26,102		2,886		3,209		32,197	
17	21,968	6,264	2,192	903	3,574	146	27,734	7,313
	28,232		3,095		3,720		35,047	
16	22,693	5,538	2,089	971	3,509	39	28,291	6,548
	28,231		3,060		3,548		34,839	

資料 2.3.6-2 貸出冊数 (冊)

区分 年度	学生		教職員		一般利用者		合計	
	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館
20	35,218	11,789	8,541	2,619	6,745	779	50,504	15,187
	47,007		11,160		7,524		65,691	
19	34,956	11,005	6,322	1,968	6,996	574	48,274	13,547
	45,961		8,290		7,570		61,821	
18	39,250	11,900	6,771	1,926	8,925	543	54,946	14,369
	51,150		8,697		9,468		69,315	
17	41,828	12,703	7,086	1,845	9,879	370	58,793	14,918
	54,531		8,931		10,249		73,711	
16	44,198	11,455	8,492	1,915	9,706	95	62,396	13,465
	55,653		10,407		9,801		75,861	
全国平均	41,689		6,157		1,510		49,356	

※「全国平均」は、「平成 19 年度学術情報基盤実態調査」による平成 18 年度同規模国立大学（2～4 学部）の実績である。

2.3.7 研究室貸出状況

(現状)

且野原図書館では、研究費で購入した資料を各教員の研究室に貸出している。研究室貸出資料の多くは、教員の退職等の際に且野原図書館に返却されており、研究室貸出冊数は、全蔵書冊数の約 11% に当たる 7 万冊程度であり、減少傾向にある。

医学図書館でも、研究費で購入した資料を各研究室に貸出しており、研究室貸出図書は全体の約 20% に当たる 2 万 5 千冊程度である。医学図書館の研究室貸出方式は、且野原図書館と異なり、基本

Ⅶ. 学内共同教育研究施設等

的に個人でなく講座単位で貸出を行っている。このため、個々の教員の退職等に伴い返却されることが少ないため、研究室貸出図書割合は今後も少しずつ増えていくことが予想される。

なお、且野原図書館については、現在は原則としてコンピュータにより貸出をしているが、目録データ化されていない古い資料については、過去に借用券で貸出手続きを行ってきており、これらは、全研究室貸出冊数の20%程度を占めている。借用券による貸出冊数は、定年退職に伴う返却等により、今後減少していくことが予想されるが、遡及入力作業の一環として借用券貸出をコンピュータ貸出に切替える作業も随時行っているところである。

(参照資料)

資料 2.3.7-1 研究室貸出状況

(評価)

借用券による貸出を減らす努力は評価できる。

資料 2.3.7-1 研究室貸出状況 (冊)

区 分	且野原図書館	医学図書館	合計
平成 20 年度	69,841	25,205	95,046
平成 19 年度	73,295	24,450	97,745
平成 18 年度	77,352	23,855	101,207
平成 17 年度	80,322	22,234	102,556
平成 16 年度	85,305	21,285	106,590

2.3.8 予約サービス体制

(現状)

且野原図書館では、利用者の申込み方法として、従来からのカウンターでの申込みがあるが、平成 17 年度から利用者自身が予約システムを利用することにより、マイライブラリや所蔵検索画面上からも申込みができるようになった（研究室貸出図書を除く）。このため、平成 18 年度については、予約件数が増加している。しかし、平成 19 年度については、耐震工事の影響で研究室貸出の資料が梱包され、予約して利用に供することができなかったため、減少しているが、平成 20 年度については状況が改善され、増加に転じている。

医学図書館は、以前より利用者自身が予約システムを利用可能であり、予約システムは学内に周知されているにもかかわらず、その使用件数はこれまで年々減少傾向にあった。しかし、平成 19 年度以降については、且野原図書館・医学図書館の図書館業務システムの統合により、且野原図書館の資料についても利用者が直接予約することが可能となったため、増加に転じている。

(参照資料)

資料 2.3.8-1 総予約件数

(評価)

両館の図書館業務システムの統合により、予約サービス体制が一層整備されたことは評価できる。

資料 2.3.8-1 総予約件数 (件)

年 度	本館	分館	合計
平成 20 年度	451	170	621
平成 19 年度	427	143	570
平成 18 年度	537	82	619
平成 17 年度	394	280	674
平成 16 年度	354	385	739

2.3.9 参考調査

(現状)

且野原図書館・医学図書館ともに、平成 20 年度については、前年度より参考調査件数が減少している。これは、主に開館日数の減少によるものと思われる(資料 2.3.1-2)。

且野原図書館・医学図書館ともに、参考調査件数については、利用登録者数に照らすと、学内利用者比べ、一般利用者からの調査依頼件数が多い(資料 2.3.3-1)。

なお、学術情報基盤実態調査と比較すると、参考調査件数は、利用者別、内容別ともに平均値を大幅に上回っている(資料 2.3.9-1, 2)。

(参照資料)

資料 2.3.1-2 開館日数・開館時間数 (再掲)

資料 2.3.3-1 利用登録者数 (再掲)

資料 2.3.9-1 利用者別参考調査件数

資料 2.3.9-2 内容別参考調査件数

(評価)

参考調査件数が全国平均を上回っていること、また、大学図書館のサービスが学外にも浸透したことは評価できる。

資料 2.3.9-1 利用者別参考調査件数 (件)

区分 年度	学生		教職員		一般利用者数		合計	
	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館
20	2,506	1,204	3,133	584	1,066	597	6,705	2,385
	3,710		3,717		1,663		9,090	
19	2,527	1,688	2,731	705	1,168	488	6,426	2,881
	4,215		3,436		1,656		9,307	
18	2,570	833	3,135	240	1,320	251	7,025	1,324
	3,403		3,375		1,571		8,349	
17	2,228	637	3,342	633	1,334	315	6,904	1,585
	2,865		3,975		1,649		8,489	
16	1,954	521	2,930	518	2,190	258	7,074	1,297
	2,475		3,448		2,448		8,371	
全国平均	2,346		1,021		684		4,051	

VII. 学内共同教育研究施設等

※「全国平均」は、「平成 19 年度学術情報基盤実態調査」による平成 18 年度同規模国立大学（2～4 学部）の実績である。

資料 2.3.9-2 内容別参考調査件数 (件)

区分 年度	文献所蔵調査		事項調査		利用指導		その他		合計	
	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館	且野原図書館	医学図書館
20	2,787	572	1,053	23	2,097	1,179	768	611	6,705	2,385
	3,359		1,076		3,276		1,379		9,090	
19	2,383	898	1,062	13	2,114	1,218	867	752	6,426	2,881
	3,281		1,075		3,332		1,619		9,307	
18	2,784	436	1,071	26	2,155	690	1,015	172	7,025	1,324
	3,220		1,097		2,845		1,187		8,349	
17	2,787	1,014	1,068	33	2,136	490	913	48	6,904	1,585
	3,801		1,101		2,626		961		8,489	
16	3,056	830	724	26	1,810	402	1,484	39	7,074	1,297
	3,886		750		2,212		1,523		8,371	
全国平均	1,899		374		1,618		160		4,051	

※「全国平均」は、「平成 19 年度学術情報基盤実態調査」による平成 18 年度同規模国立大学（2～4 学部）の実績である。

2.3.10 情報検索

(現状)

且野原図書館では、新聞記事及び判例の検索データベースについて主要なものを Web, CD-ROM, DVD で提供しており、医学図書館では主要な医学、看護、薬学系及び EBM のデータベースを WEB 上で検索できる環境を整えている。

また、平成 19 年度から、CiNii (NII 論文情報ナビゲータ) を機関契約しており、データベースの充実を図ったところである。

(参照資料)

資料 2.3.10-1 情報検索データベース

(評価)

且野原図書館・医学図書館とも、利用者の要求を満たす検索データベースは整備されており評価できる。

資料 2.3.10-1 情報検索データベース

且野原図書館	日経 4 誌全文記事検索 (CD-ROM 版, DVD 版)
	戦後 50 年朝日記事見出し (CD-ROM 版)
	明治・大正・昭和読売新聞 (CD-ROM 版)
	主要法律雑誌 (DVD 版)
	第一法規法情報総合データベース
	理科年表プレミアム (WEB 版)

医学図書館	CINAHL (WEB 版)
	Cochrane (WEB 版)
	医中誌 (WEB 版)
	Journal Citation Report (WEB 版)
共 通	CiNii (NII 論文情報ナビゲータ)
	朝日新聞全文記事データベース 聞蔵 (WEB 版)

2.3.11 電子ジャーナル

(現状)

約 5,100 タイトルの電子ジャーナルを購読しており、主要な電子ジャーナルパッケージは学内の研究室等から利用可能となっている。

平成 20 年度において年間のダウンロード回数は約 12.6 万件である。特に Elsevier 社の利用回数が全体の 61% を占めている。出版社毎に増減はあるが全体としては毎年、利用回数が増加している。

また、費用対効果を考えれば引き続き電子ジャーナルの見直しが必要である。

(参照資料)

資料 2.3.11-1 各種出版社別電子ジャーナル ダウンロード件数

(評価)

各分野の代表的な電子ジャーナルは購読しており、購読タイトル数としては水準を満たし、また利用回数も増加しており、評価できる。

資料 2.3.11-1 各出版社別電子ジャーナル ダウンロード件数 (件)

ジャーナル	収録タイトル	タイトル数等	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度
Springer	全分野	1,280	4,533	4,689	5,213	5,862	7,713
Wiley	全分野	592	4,904	5,527	6,680	8,508	12,383
Elsevier	全分野	2,277	65,820	69,641	65,253	68,849	77,180
IEEE CSLSP	コンピュータ系	23	1,142	2,093	2,621	1,168	321
ACS	化学系	37	4,805	6,436	9,964	12,645	9,819
Nature	本誌 + 生物医学系	9	4,164	4,578	2,474	882	2,132
Blackwell	全分野	797	5,582	4,818	6,819	8,067	12,377
Oxford	全分野	166	契約なし	契約なし	3,529	3,319	4,871
合 計		5,181	90,950	97,782	102,553	109,300	126,796

2.3.12 他館利用制度

(現状)

大分県内の大学図書館間では学生証による相互利用が可能である。また、大分県立図書館との間で相互利用協定を結び、双方で文献複写や現物貸借ができるようにしている。一方、平成 15 年から横断検索を開始し、大分県立図書館と本学附属図書館の蔵書を同時に検索できるシステムを構築した。

平成 17 年度から、横断検索サービスに新たに 4 大学等が参加し、さらに、平成 19 年度には、県内 10 公立図書館を新たに追加し、県内図書館資料利用の利便性が向上した。

また、本検索サービス開始とともに、平成 19 年度に県内公共図書館に対して附属図書館所蔵資料

VII. 学内共同教育研究施設等

の貸出及び文献複写サービスの試行を行い、平成20年4月から正式サービスを開始している。

医学図書館では、平成15年度から横断検索に参加している。また、大学統合に伴い平成17年度より大分県立図書館との相互利用協定に参加し、徐々に相互利用が活発になりつつある。

(参照資料)

資料 2.3.12-1 横断検索参加館

資料 2.3.12-2 大分県立図書館との相互協力状況

(評価)

着実に他館利用制度が整備されており評価できる。

資料 2.3.12-1 横断検索参加館

年度	参加館
平成19・20年度	大分大学学術情報拠点（図書館／医学図書館）、大分県立図書館、別府大学附属図書館、日本文理大学図書館、大分県立芸術文化短期大学附属図書館、大分工業高等専門学校図書館、公立図書館10館
平成17・18年度	大分大学附属図書館（本館／医学分館）、大分県立図書館、別府大学附属図書館、日本文理大学図書館、大分県立芸術文化短期大学附属図書館、大分工業高等専門学校図書館
平成15・16年度	大分大学附属図書館（本館／医学分館）、大分県立図書館

資料 2.3.12-2 大分県立図書館との相互協力状況 (件)

内 訳	旦野原図書		医学図書館	
	依頼	受付	依頼	受付
平成20年度	119	45	41	12
平成19年度	128	42	27	6
平成18年度	145	26	1	1
平成17年度	119	20	0	0
平成16年度	102	16	—	—

2.3.13 相互貸借利用状況

(現状)

全国平均に比べ文献複写の依頼件数が非常に多い（資料 2.3.13-1）。文献複写の依頼・受付件数は以前よりは減少傾向にあるが、これは電子ジャーナルの利用が増加しているためと考えられる。また、現物貸借の依頼・受付件数が増加傾向にあるのは、大分県立図書館との相互利用が活発になってきていることを反映したものである。

なお、文献複写料金等（私費）の時間外開館時における収納手続きについて、平成21年度実施に向けて検討を行っている。

(参照資料)

資料 2.3.13-1 相互貸借利用状況

(評価)

現物貸借の活発な点は、大いに評価できる。

資料 2.3.13-1 相互貸借利用状況 (件)

年 度	区 分	文献複写		現物貸借	
		依 頼	受 付	依 頼	受 付
平成 20 年度		6,758	2,738	348	362
平成 19 年度		5,811	2,576	354	306
平成 18 年度		5,997	3,023	417	299
平成 17 年度		6,183	3,734	213	221
平成 16 年度		7,245	4,130	191	198
全国平均		2,123	2,719	189	190

※「全国平均」は、「平成 19 年度学術情報基盤実態調査」による平成 18 年度同規模国立大学（2～4 学部）の実績である。

2.3.14 地域貢献

(現状)

旦那原図書館では、大学開放イベントにあわせて、子供を対象とした催しや、廃棄図書の無償配布等を実施している。（資料 2.2.14-1）。

また、医学図書館では、平成 20 年 1 月から、地域における医学及び医療の発展に寄与するために、大分県内の医療従事者を対象として、附属図書館のほか、他大学図書館等が所蔵する文献を配送するサービス（医学文献デリバリーサービス）を開始したところであり、利用件数は着実に増加している。

(参照資料)

資料 2.3.14-1 附属図書館のイベント

資料 2.3.14-2 医学文献デリバリーサービス

(評価)

一般利用者への資料の閲覧・貸出サービスのほか、様々な取り組みを行っていることは大いに評価できる。特に医学文献デリバリーサービスの利用件数が増加していることが評価できる。

資料 2.3.14-1 附属図書館のイベント (人)

年 度	実施概要	来館者数
平成 20 年度	平成 20 年 11 月 2 日（日）10 時～16 時 1. 読み聞かせ会 2. 一般・娯楽雑誌の無償配布	1,104

Ⅶ. 学内共同教育研究施設等

平成 19 年度	平成 19 年 11 月 4 日（日）10 時～17 時 1. 読み聞かせ会 2. まざまな「水」に関する図書館資料展示 3. 身近な水を検査してみよう！ 4. パネルで“水問題”を考えます 5. 一般・娯楽雑誌の無償配布	1,448
平成 18 年度	平成 18 年 11 月 5 日（日）10 時～16 時 1. 学生との遊びを交えたおはなし会 2. こども劇場（人形劇，紙芝居，絵本読み聞かせ） 3. 一般・娯楽雑誌の無償配布	1,165
平成 17 年度	平成 17 年 11 月 6 日（日）10 時～16 時 1. 絵本展 ①荒井良二作品展，②読み聞かせ会（11 時及び 14 時） 2. 廃棄図書 of 無償配布 3. 写真展（学内の野鳥）	854
平成 16 年度	平成 16 年 11 月 7 日（日）10 時～16 時 1. 貴重書展 ①府内城絵図，②石垣原合戦絵図，③豊後国絵図外 2. 絵本展 ①ロシアの絵本，②仕掛け絵本 3. 読み聞かせ会 4. 廃棄図書 of 無償配布	948

資料 2.3.14-2 医学文献デリバリーサービス

年 度	新規登録者数（名）	受付件数
平成 20 年度	37	1,061
平成 19 年度	75	285